

「第2回なすかしの森ファミリーチャレンジ
～キャンプ×パラスポーツ～」報告

令和元年9月28日(土)～29日(日)1泊2日



【目的・趣旨】

幼少期から中学生期までの体験が多い高校生ほど、思いやり、やる気、人間関係能力等の資質・能力が高いことや、体験が豊富な子供ほど読む本の冊数が多いという割合が高いこと等が、調査研究において明らかになっている。このような調査研究を踏まえ、当施設では、幼児・小学生・中学生を含む家族を対象に、体験活動を通して親子の絆を深めつつ、今日的な課題への意識付けを行いながら、利用者が「参加して良かった。また参加したい」と思えるようなプログラムを提供する。

第2回目は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴い、パラスポーツの普及・啓発を促す機会を提供しスポーツの楽しみ方を肌身で感じられるようプログラムを企画した。

【連携先】

- ・福島県ボッチャ協会・福島県フライングディスク協会
- ・福島大学学生ボランティア団体「わだち」

【募集対象／実績】

《募集対象》 幼児又は小・中学生の子供を含む家族 20家族80名程度

《実績》 40名参加 大人・・・20名 子供・・・20名

【プログラム概要】

【1日目】 令和元年9月28日(土) 天候：曇り時々雨

- 12:30 集合・受付 [エコルーム2]
- 13:00 であいのつどい [エコルーム2]
- 13:40 自然体験活動プログラム [わくわく広場]
ネイチャーゲーム(葉っぱじゃんけん、目隠しトレイル)を実施した。
- 15:00 アウトドアクッキング [エコルーム2]
メニュー: 栗ご飯、サツマイモ豚汁
- 18:30 キャンドルファイヤー [わんぱくルーム]
当所はキャンプファイヤーの予定だったが、雨天の為キャンドルファイヤーを実施した。
- 19:30 入浴 [浴室]
- 20:30 のんびりタイム [わんぱくルーム]
カードゲームや室内レク、保護者同士の交流の場として施設を開放した。
- 22:00 就寝 [各宿泊部屋]

【2日目】 令和元年9月29日(日) 天候：曇り時々雨

- 07:00 朝のつどい
- 07:30 朝食 [食堂レストラン]
- 09:00 パラ&ニュースポーツ体験 [プレイホール]
ボッチャ・フライングディスクを実施した。
- 12:00 昼食 [食堂レストラン]
- 12:45 アンケート記入・ふりかえり [キビタルーム]
- 13:00 わかれのつどい [キビタルーム]
- 13:30 解散

【成果】

- ・自然体験活動プログラムでは、那須甲子の雄大な自然環境を活用したネイチャーゲームを実施し、家族ごとに自然とふれあい、他の家族との交流も十分に図ることができた。
- ・アウトドアクッキングでは、栗の皮むきを幼児が担当し、火おこしを親子で担当するなど、大人のみでスムーズに進めていく形でなく、主として子ども達のリズムに合わせた調理ができた。また、地元食材を少しでも使用できたらと考え、栗とサツマイモについては地元農家さんから仕入れた。県外の参加者も多くいたため、福島の食材のPRもできたと感じる。
- ・途中雨が降り出し、キャンプファイヤーの予定をキャンドルファイヤーに変更したが、積極的にプログラムへ参加していた。
- ・パラ&ニュースポーツ体験では、ボッチャ協会とフライングディスク協会の先生方を講師として招き、実施をした。それぞれ、専門性の高い指導のもと、勝敗問わず楽しんでスポーツに取り組む姿を見ることができた。

《参加者の声》

「メディアからはなれ、自然の中での活動や夕食づくりの活動を通じて、親子の距離がいつも以上に近くなりました。」「スポーツというコミュニケーションツールを通じて、様々な交流が取れたのが良かった。」「色々な年代の子供・大人がいましたが、みんなが楽しめるプログラムでした。」「季節を感じられるのは、良いと思いました。」「普段、なかなかできないことがたくさんでした。子供とたくさん接することができて、布団の片づけやご飯作りもできて成長を感じることができました。」「予想以上に、ボッチャ・フライングディスクにはまる子供たちを見ていい経験が出来たなって思いました。」等

【課題と方策】

- ・参加者が定員の半分であったため、より効果的な広報の方法を模索必要がある。

国立那須甲子青少年自然の家【作成】事業推進係：古谷 洋祐

